

「空襲通信」第18号正誤表

	誤	正
p.3右段下から11行	1945年11月24日	1944年11月24日
p.35左段1行-5行	5.4 巻き添え空襲の悲劇 第二に、飛行コースで新たに解明できた通過（経由）地点の資料から、小田原の例のように離岸直前に災禍に遭ったことが明らかになった話題にも触れることにする。	5.4 巻き添え空襲 第二に、飛行コースで新たに解明できた通過（経由）地点に爆撃を行った例についても触れることにする。
p.35右段17-22行	清水町では、8月14日の爆撃で、光海軍工廠を攻撃した爆撃機の中の1機の離岸直前の（帰りがけの駄賃として）投弾によって、106名もの命が奪われた。中村町でも若干の死者を出した。その後、両市ともに慰霊碑が建立され、市民が追悼を続けているという。	清水町や中村町では、8月14日の爆撃で、光海軍工廠を攻撃した爆撃機の中の各1機の、ともに目視による投弾があった。（表 - 2 STANDARDの項参照）